

授業科目名 <英訳>	スーフィズム・タリーカ論 Sufism and Tariqa Studies I	担当者所属・ 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 東長 靖 非常勤講師 ニッ山 達朗
---------------	---	-----------------	---

配当 学年	1-5回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	月5	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
----------	-------	-----	---	--------------	-------------	-----	----	----------	----	----------	-----

[授業の概要・目的]

スーフィズム・タリーカ・聖者信仰を研究する際には、さまざまなジャンルの資料が必要となる。本講義では、これらの資料の代表的なものを順次取り上げ、講読していく。

[到達目標]

アラビア語の文献を読みこなす力を身につけることを目標とする。同時に、文献を読む際に必要な工具書・参考書の使い方も身につける。

[授業計画と内容]

上記の研究のためには、理論書、列伝・徳行伝、参詣書、年代記、系譜書、用語集など、さまざまなスタイルの資料を扱えるようになる必要がある。本講義では、年に1～2点程度の資料を取り上げ、丹念に読み込む訓練を行う。

講読の対象としては、以下のような書目が挙げられる。

これまでに本講義で取り上げてきた書目は以下の通り。

クシャイリー『スーフィー派の言表とその意味の書』（2010）：用語集

ナブハーニー『聖者の奇蹟集成』より「アブー・アッバース・アフマド・ティジャーニー」（2010）：列伝

カーシャーニー『スーフィー用語集』（2011）：用語集

ナーブルスィー『シリア・エジプト・ヒジャーズ地方の旅における本義と転義』（2011）：地理書

ムハンマド・アフマド・クルディー『幽玄の熟知の扱いについての心の照射の書』（2012）：理論書（修行論）

ガザリー『宗教諸学の再興』（2013）：理論書（代表的なスーフィズム理論書）

アブドゥルカーヒル・スフラワルディー『修行者たちの作法』（2013）：理論書（スフラワルディー教団の修行規則を書いたもの。神学との整合性を中心に。）

ズィリクリー『人名録』およびカッハーラ『著述家辞典』ほか（2014）：人名辞典

タシュキョプリューザーデ『赤いアネモネ』（2015）：ウラマー・スーフィー列伝

ボスネヴィー『叡智の台座注釈』（2015）：写本

サヌースィー『40のタリーカを支える泉』（2016）：修行法

イブン・アラビー『欲望の解釈者』（2016）：アラブ詩

1回目の講義において、いくつかの候補を挙げ、何を選んで読むかを相談して決める。

[履修要件]

初級アラビア語文法を習得していること。

[成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点によって評価する。

スーフィズム・タリーカ論 (2)

[教科書]

使用しない
テキストは当方で用意し、教室で配布する。

[参考書等]

(参考書)

東長靖 『イスラームとスーフィズム』(名古屋大学出版会) ISBN:978-4-8158-0721-4
ティエリー・ザルコンヌ 『スーフィー - イスラームの神秘主義者たち』(創元社) ISBN:978-4-422-21212-8 (豊富な写真が特徴。東長靖監修。)
東長靖・今松泰 『イスラーム神秘思想の輝き - 愛と知の探求』(山川出版社) ISBN:978-4-634-47475-8 (前半はスーフィズム概説、後半はオスマン朝スーフィズム・タリーカ史。)
山内昌之・大塚和夫編 『イスラームを学ぶ人のために』(世界思想社)((I-4 東長靖「スーフィーと教団」参照。絶版なので、図書館で借りて下さい。))
その他、教室で指示する。

[授業外学習(予習・復習)等]

アラビア語の原典講読なので、入念な予習が必要である。複数の辞書にあたるほか、地名事典・人名事典・用語集等も必要に応じて活用する必要がある。

(その他(オフィスアワー等))

講義前には、十分な準備が必要である。資料中に出てくるクルアーン、ハディースの引用などは、必ず出典を確認してくる。また、詩が出てくる場合も、韻律を調べる。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。